

**製品名: Dvl-2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10210**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	80kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DVL2
別名	DVL2; Segment polarity protein dishevelled homolog DVL-2; Dishevelled-2; DSH homolog 2
遺伝子 ID	1856.0
SwissProt ID	O14641
免疫原	Dvl-2 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 670-750

**背景**

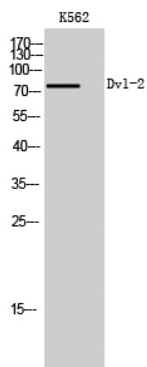
この遺伝子は、dishevelled (dsh) タンパク質ファミリーのメンバーをコードします。脊椎動物の dsh タンパク質は、ショウジョウバエの dsh と約 40% のアミノ酸配列相同性を示します。この遺伝子は 90kD のタンパク質をコードしており、このタンパク質は翻訳後

リン酸化を受けて 95kD の細胞質タンパク質を形成します。このタンパク質は、複数の Wnt タンパク質を介したシグナル伝達経路において何らかの役割を果たす可能性があります。Wnt シグナル伝達における dishevelled の機能機構は、後生動物間で保存されていると考えられます。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: 複数の Wnt 遺伝子を介したシグナル伝達経路において役割を果たす可能性がある。 ,PTM: リン酸化されている。 ,類似性: DSH ファミリーに属する。 ,類似性: 1つの DEP ドメインを含む。 ,類似性: 1つの DIX ドメインを含む。 ,類似性: 1つの PDZ (DHR) ドメインを含む。 ,サブユニット: PDZ ドメインを介して VANGL1 および VANGL2 の C 末端領域と相互作用する (類似性による) 。 DIXDC1 および Rac と相互作用する。 ,

## 研究分野

WNT、WNT-T 細胞、ノッチ、メラニン生成、がんにおける経路、大腸がん、基底細胞がん。

## 画像データ



Dvl-2 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析